

地方会議（東京都多摩地区）

1. 日時、場所

平成24年5月26日（土） 14：00～16：00
多摩職業能力開発センター

2. 参加者

地元の若手・女性 of 中小企業経営者等 160名

3. 参加者の意見

（1）出された意見数（課題別）

全体意見数	51
資金調達	3
経営指導・経営支援	14
技術力・人材（技能承継等）	5
取引関係（下請取引・流通構造等）	3
販路開拓（海外展開等）	2
若手・青年層の活力発揮	2
女性層の活力発揮	10
「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）	12
その他	2

（2）主な意見

【経営指導・経営支援】

- ・ この不景気に助成金・補助金ありがたい制度。だが、仕組みが複雑で申請が素人には難しい。情報をもっと発信して欲しい。
- ・ 行政の助成金情報を、ニーズのあるお客に紹介していくことも金融機関の役割と思っている。
- ・ 経産省の事業は、金融機関との関係で弱い。省庁間の連携が必要。

【技術力・人材（技能承継等）】

- ・ 技術のある中小企業は、デザイン力をつけることにより、世界に発信出来ると思う。
- ・ 地域の障がい者やシルバー雇用を掘り起こして生産プロセスを作った。労働

力から生産プロセスを考える、逆の発想も重要では。等

【販路開拓（海外展開等）】

- ・ 日本の中小企業が世界で飛躍できるような支援をお願いしたい。

【若手・青年層の活力発揮】

- ・ 地域の中で、住民と若者と企業がつながって、教育熱心な小規模企業に若い人が就職できるような仕組みが出来ればいい。

【女性層の活力発揮】

- ・ 学生にはインターンシップがあるが、主婦にも同様の制度や、スキルやマインドの教育が必要。
- ・ 納品を女性にお願いするようになったら、お客様と軽いコミュニケーションを自然と取ってくれ、営業・受注増につながった。社内外で快い人間関係・和を作ってくれる女性が会社の強い戦力になっている。
- ・ 働きたいお母さんは沢山いるが待機児童問題や、病児保育など、障害が沢山あるのが現状。

【「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）】

- ・ 商店街関係者だけでなく、地域住民と地域中小企業が主体となった街づくり・地域作りが必要。特に多摩地区には都心に通う優秀なサラリーマンなど活用できていない人材が眠っている。
- ・ 多摩地区は、人口は増えているが、商業の売上は減っているのが現状。個別の店舗の経営力や魅力アップ等専門性の高い支援を望む。